

日本の風況、離岸距離と水深



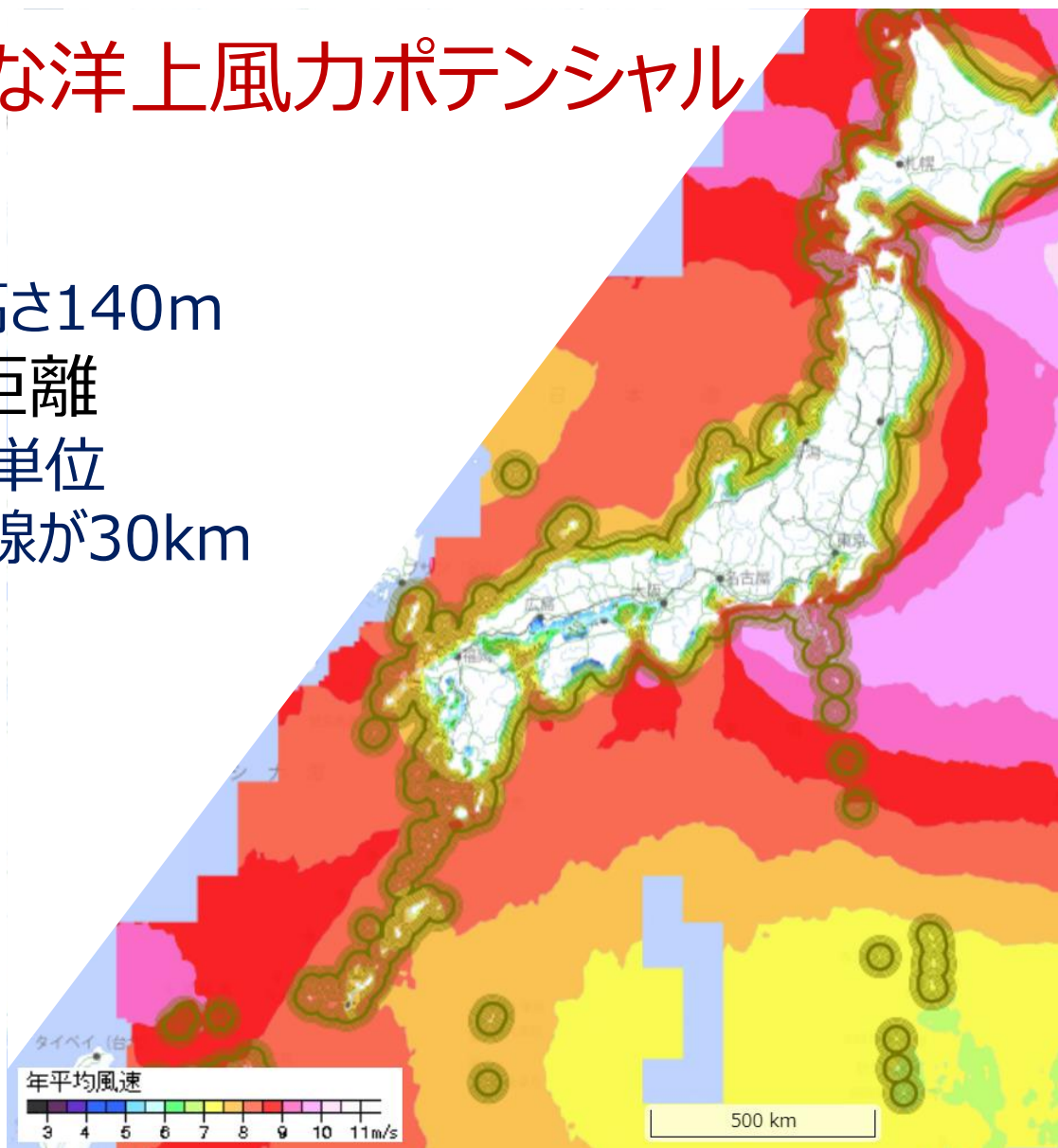
■ 豊富な洋上風力ポテンシャル

■ 風況

- ハブ高さ140m

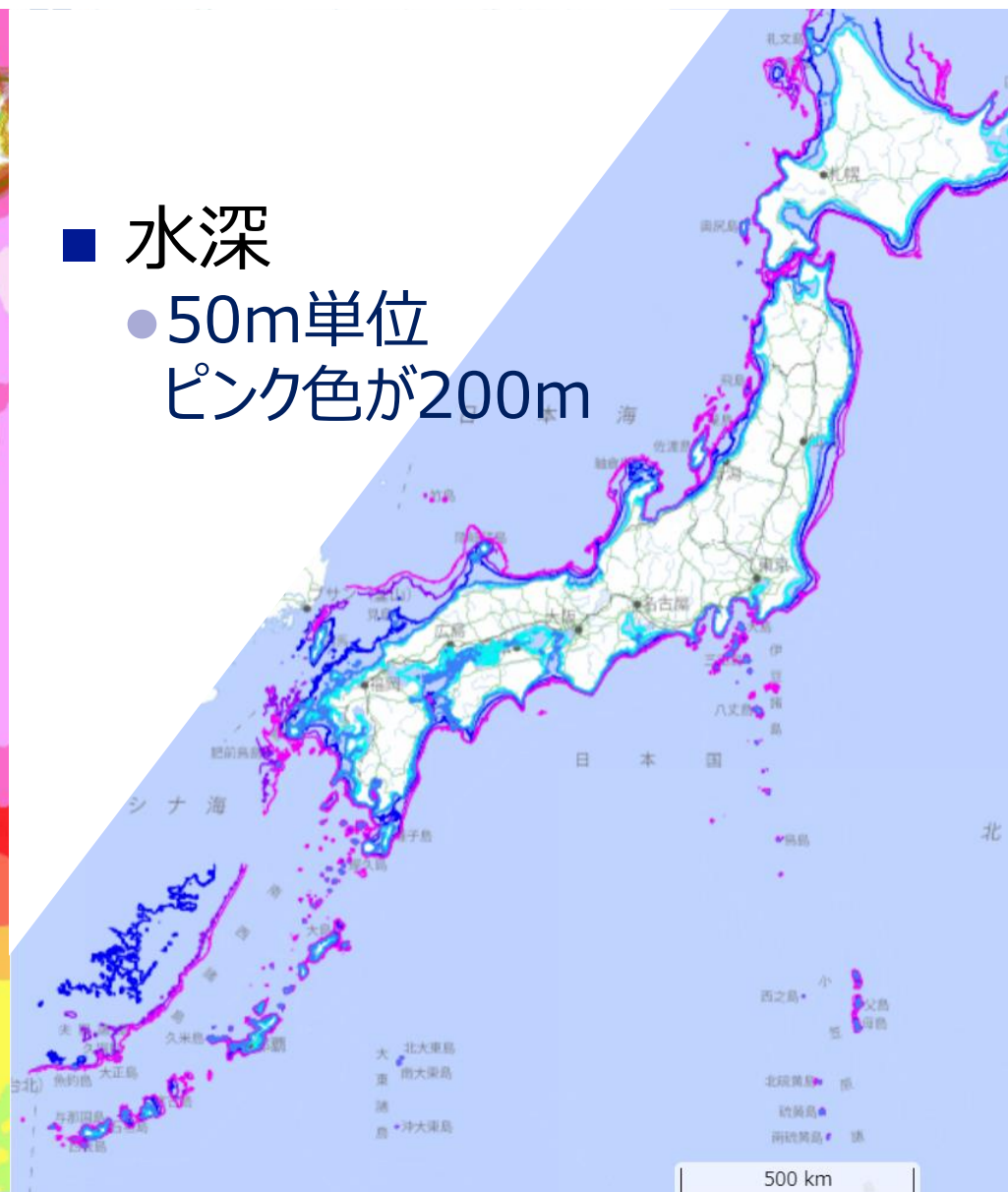
■ 離岸距離

- 5km単位
茶太線が30km



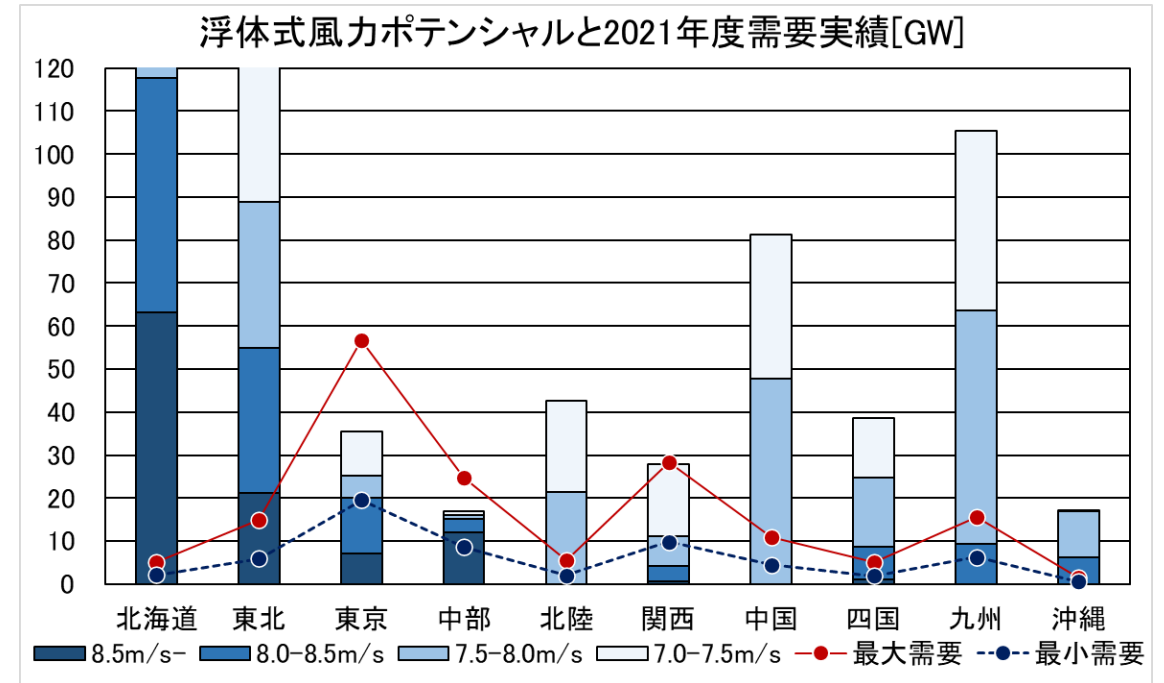
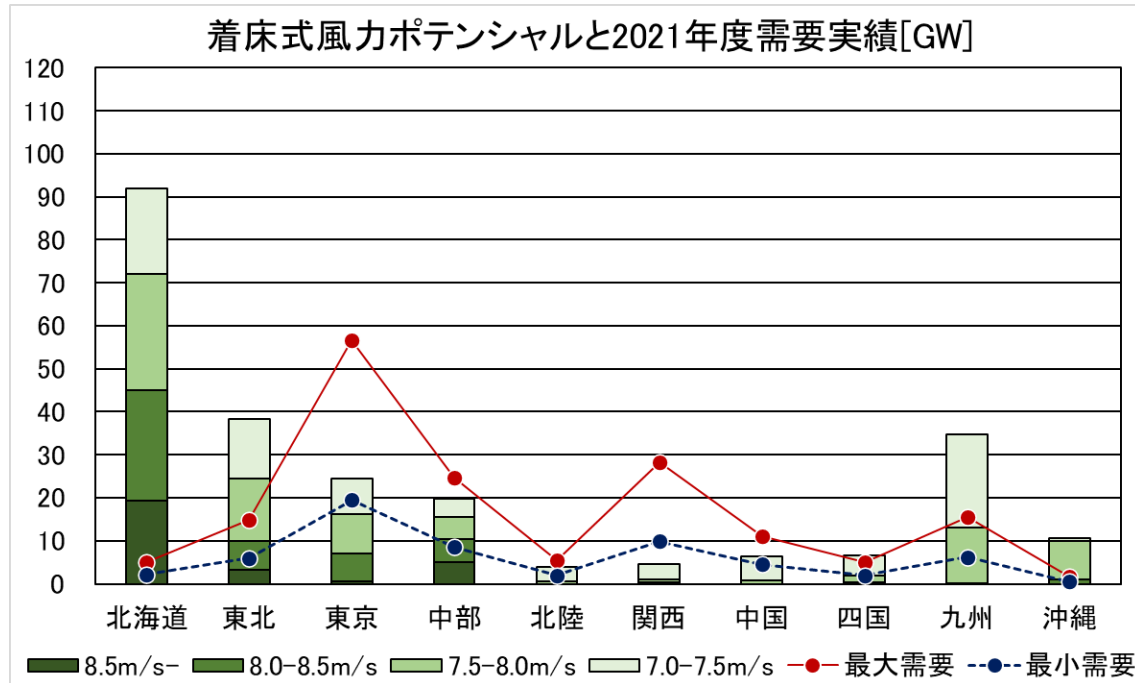
■ 水深

- 50m単位
ピンク色が200m



洋上風力ポテンシャル：日本全国とエリア別

- ハブ高さ140m、受風面積3.0m²/kWの風車を適用、8MW/km² で算出
離岸距離30km以内、水深60m未満（着床式）、水深60m以上200m未満（浮体式）
 - 年平均風速7.0m/s以上：241.6GW（着床）、689.1GW（浮体）理論設備利用率35.5%以上
 - 年平均風速7.5m/s以上：156.1GW（着床）、473.6GW（浮体）理論設備利用率39.9%以上
 - 年平均風速8.0m/s以上：74.6GW（着床）、236.1GW（浮体）理論設備利用率44.1%以上
 - ◆ 実質設備利用率は、定期点検などによる停止や風速出現頻度の違いにより、理論設備利用率の約90%と推定される



7.5m/s以上：北海道と東北で全国の62%（着床）、52%（浮体）、北海道は全国の46%と33%
8.0m/s以上：北海道と東北で全国の74%（着床）、73%（浮体）、北海道は全国の60%と50%

洋上風力発電所の運転開始までに要する期間

- プロジェクトによりばらつきがあり、かつ国により順番が異なったりするが、目安として合計で11年
- セントラル方式の適用に加えて、各種許認可に要する期間の短縮が、早期運転開始の鍵

